

# 地域福祉計画・地域福祉活動計画策定 に向けた意識調査報告書

2023年3月  
平塚市社会福祉協議会

実施時期：2023年1月

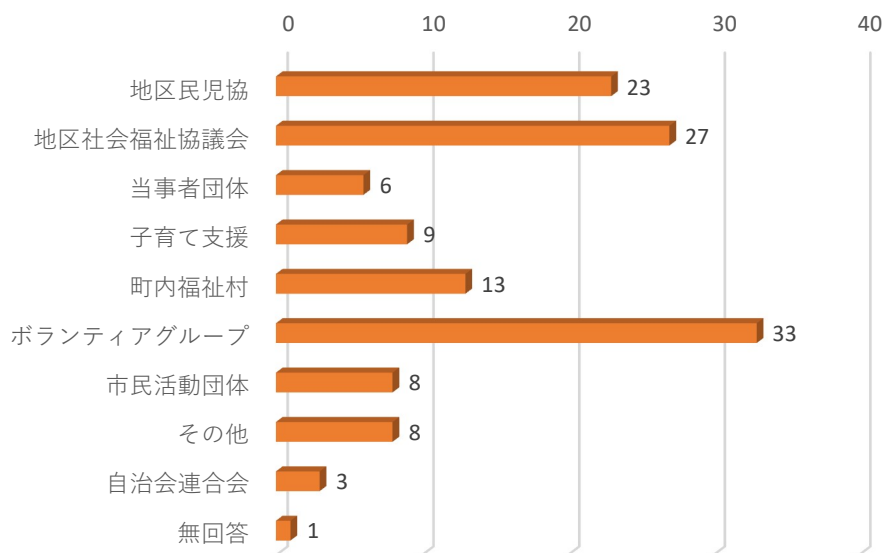
調査先：地区民児協、地区社協、自治会連合会、老人クラブ、当事者団体、ボランティアグループ、子育てグループ、町内福祉村、市民活動 合計270団体

回答数：131 回答率48%

①地域福祉活動団体（一般向け）※問6～問8は自治連の回答含む

問1 貴団体について教えてください。

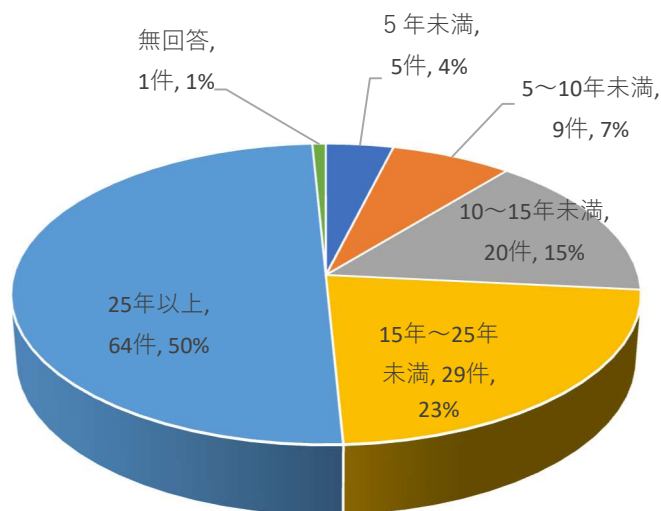
地区民児協	23
地区社会福祉協議会	27
当事者団体	6
子育て支援	9
町内福祉村	13
ボランティアグループ（ボランティアセンター登録）	33
市民活動団体（市民活動センター登録）	8
その他	8
自治会連合会	1



問1 貴団体・グループの活動年数は、令和5年3月末日現在で何年になりますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。なお、5を選んだ場合、活動年数を記入してください。

1	5年未満	2	5～10年未満	3	10～15年未満
4	15～25年未満	5	25年以上（ 年）		

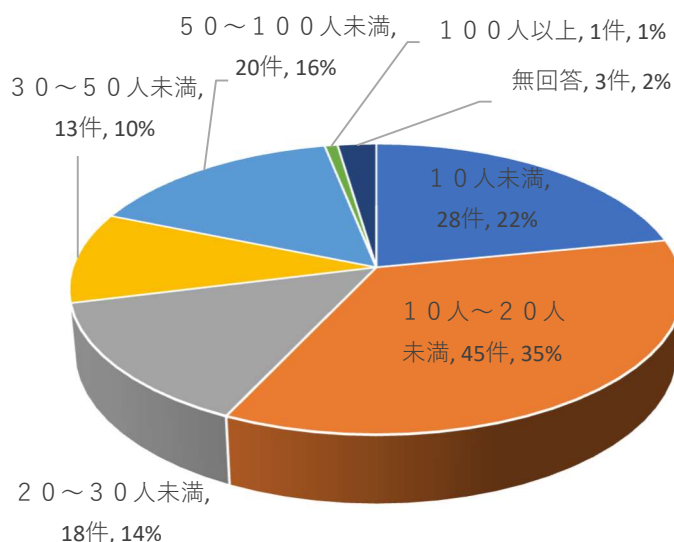
5年未満	5件	4%
5～10年未満	9件	7%
10～15年未満	20件	15%
15～25年未満	29件	23%
25年以上	64件	50%
無回答	1件	1%



問2 貴団体・グループの実質活動メンバーは、何人ですか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1	10人未満	2	10～20人未満	3	20～30人未満
4	30～50人未満	5	50～100人未満	6	100人以上

10人未満	28件	22%
10～20人未満	45件	35%
20～30人未満	18件	14%
30～50人未満	13件	10%
50～100人未満	20件	16%
100人以上	1件	1%
無回答	3件	2%

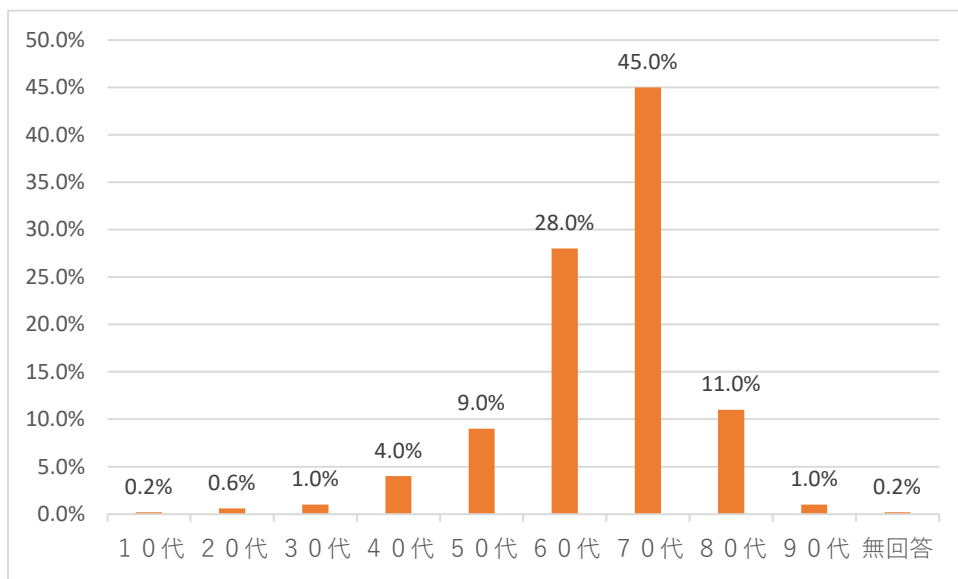


問3 貴団体・グループのメンバー構成についてお答えください。

(1) メンバーの年齢構成（割合）について

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
0.2%	0.6%	1.0%	4.0%	9.0%	28.0%	45.0%	11.0%	1.0%

※無回答 0.2%



・70代が45.0%と一番多く、次いで60代28.0%と60代・70代が全体の68n%を占めている。若い年代になるにつれ減っている。

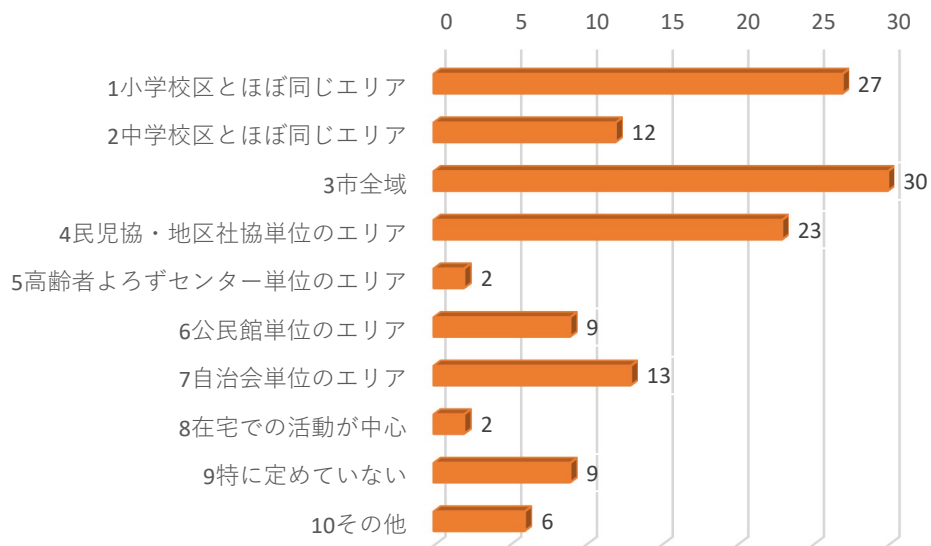
(2) メンバーの性別（割合）について

男	女	その他
30%	69%	1%

問4 貴団体・グループが活動しているエリアについて、当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。（答えが複数になる場合には、もっとも時間を割いている活動エリアをお答えください）

- |    |                           |
|----|---------------------------|
| 1  | 小学校区とほぼ同ジエリア              |
| 2  | 中学校区とほぼ同ジエリア              |
| 3  | 市全域                       |
| 4  | 民生委員児童委員・地区社会福祉協議会の単位のエリア |
| 5  | 高齢者よろず相談センター単位のエリア        |
| 6  | 公民館単位のエリア                 |
| 7  | 自治会のエリア                   |
| 8  | 在宅での活動が中心                 |
| 9  | 特に定めていない                  |
| 10 | その他                       |

小学校区とほぼ同ジエリア	27
中学校区とほぼ同ジエリア	12
市全域	30
民生員児童委員・地区社会福祉協議会の単位のエリア	23
高齢者よろず相談センター単位のエリア	2
公民館単位のエリア	9
自治会のエリア	13
在宅での活動が中心	2
特に定めていない	9
その他	6



問5 現在の貴団体・グループの運営上の課題について、お答えください。(自由記載)

**(1) メンバーなど活動者の課題**

- ・メンバーの高齢化 53件
- ・後継者不足 19件
- ・若い人材がほしい 9件
- ・コロナ禍で活動先が減っている

**(2) 財源上の課題**

- ・物価上昇により厳しくなっている
- ・会員の減少により会費の減少
- ・助成金以外での活動費の確保
- ・収入源の確保

**(3) その他の課題**

- ・コロナ禍の影響による利用者の回復
- ・交通手段
- ・団体の周知、PRの方法
- ・活動の拠点場所の確保
- ・関係機関との連携の方法
- ・担い手不足によるメンバーの負担の増加

問6 現在の貴団体・グループでの福祉課題と対応について教えてください。下記のカテゴリごとにご回答ください。

※回答には自治会連合会の回答を含む。

### (1) 高齢者関係

#### 福祉課題

- 1 ごみ出し、買い物等の生活の困りごと
- 2 サロン活動等へ参加するための移動手段
- 3 地域での接触、外出するきっかけ
- 4 自治会での役割の負担
- 5 一人暮らし高齢者の安否確認、認知症高齢者への対応

#### 対応

- 1 ボランティア、関係機関への相談、依頼、対応
- 2 交通手段の確保
- 3 地域でのサロンや行事の開催
- 4 高齢者の負担軽減策を協議
- 5 地域包括支援センター、民生委員等、地域の関係機関との連携

### (2) 障がい者関係

#### 福祉課題

- 1 障がい者の相談などの受け入れ態勢が整っていない
- 2 障がい者と地域の関わりが少なく、どのように関わっていいのかわからない住民が多い
- 3 コロナの影響で交流が少ない
- 4 外出支援
- 5 高齢者の障がいの重複や重度化

#### 対応

- 1 地域の介護施設や包括支援センターとの連携
- 2 地域での勉強会・講演会等を実施
- 3 障がい者関係機関との情報交換
- 4 電話を入れ困りごとがないか聞く
- 5 支援センターとの連携

### (3) 子ども・子育て関係

#### 福祉課題

- 1 未就園児の親子の子育て支援活動
- 2 虐待、見守り活動
- 3 ヤングケアラーの支援・対応

#### 対応

- 1 定期的な親子のふれあい活動を行い、必要に応じ関係機関に連絡・相談
- 2 状況を把握し対応できる機関に相談

### 3 小・中学校や関係機関との連携、支援

#### (4) 生活困窮関係

##### 福祉課題

- 1 生活困窮の度合いの把握が困難
- 2 プライバシーの関係により該当者の発見が困難

##### 対応

- 1 日常の見守り活動、自治会等との連携での把握
- 2 日々のきめ細かな活動

#### (5) その他

##### 福祉課題

- 1 ひきこもり、ごみ屋敷等の支援
- 2 8050問題等、世帯の中での複合課題

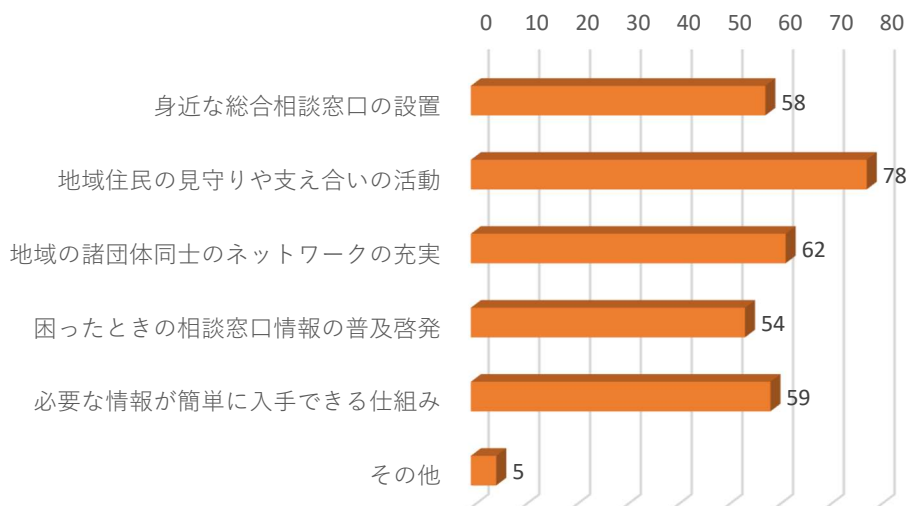
##### 対応

- 1 関係機関との相談、連携
- 2 近所からの情報入手、学校との連携を行い支援

問7 あなたの地域における様々な福祉課題を解決するための効果的な方法は何だと思いますか。次の中から3つ選び、○で囲んでください。また、その他を選んだ場合、効果的な方法をお書きください。

※回答には自治会連合会の回答を含む

- 1 身近な総合相談窓口の設置（福祉の専門的知識を持った相談員を配置）
- 2 地域住民の見守りや支え合いの活動
- 3 地域の諸団体同士のネットワークの充実
- 4 困ったときの相談窓口情報の普及啓発
- 5 必要な情報が簡単に入手できる仕組み
- 6 その他



- その他
- ・高齢者が気軽に参加できる場所
  - ・地域の人たちの協力
  - ・気軽な相談場所の設置
  - ・地域の各団体の協力体制、調整機関の設置

問7 今後5年程度の間に取り組みが必要な課題などがあればお答えください(現在進行形でも構いません)。

※回答には自治会連合会の回答を含む。

- ・若い人材の確保
- ・人材をどのように集めるか
- ・認知症の方への対応、8050世帯・ひきこもりの方への対応、孤独の問題、少子化、生活困窮者等々
- ・防災体制
- ・移動手段
- ・地域全体で困った人たちの発見
- ・ヤングケアラー、虐待、ネグレクト、不登校、ひきこもり
- ・各種団体との情報交換、連携
- ・交通アクセス
- ・各種行事の再開
- ・自治会加入の支援

問8 地域福祉リーディングプランの改定に向けて、提言したいことやご要望があればお書きください。

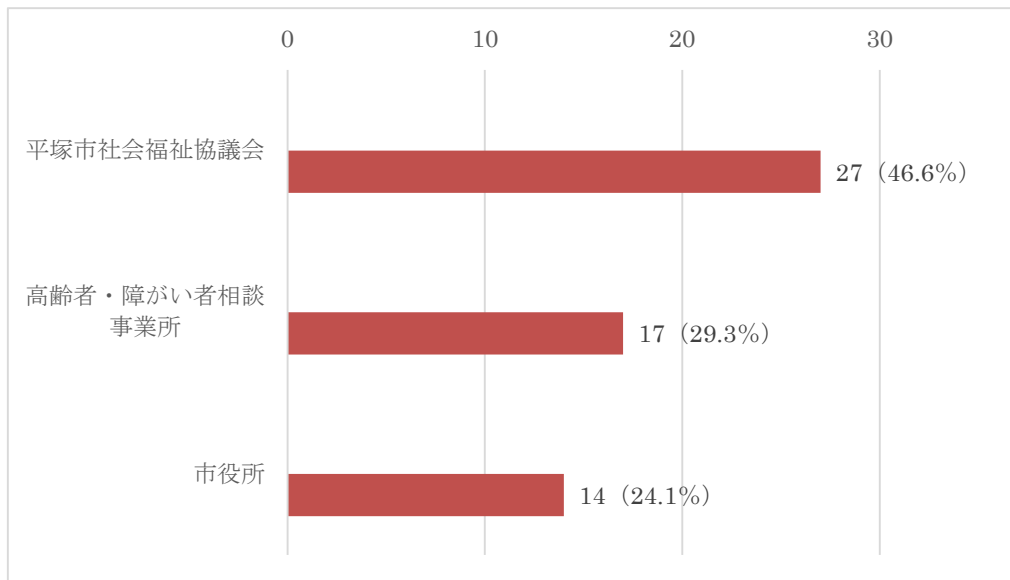
※回答には自治会連合会の回答を含む

- ・子育て世帯の支援
- ・地域の人達の生活状況の把握、複合課題の解決
- ・交通手段の確保
- ・リーディングプランについての周知の徹底

## ②相談支援事業所等向け

問1 所属先を下記から選んでください。

- 1 平塚市社会福祉協議会
- 2 高齢者よろず相談センター
- 3 障がい者事業所
- 4 市役所
- 5 その他



問2 窓口対応や相談などで住民の方から寄せられる福祉的課題について、対応に困った相談をお答えください。次の中から3つ選び○をつけてください。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1 こども・子育てに関すること</li> <li>2 障がい者に関すること</li> <li>3 高齢・介護に関すること</li> <li>4 家族関係に関すること</li> <li>5 生活困窮（収入、借金、生活費など）に関すること</li> <li>6 消費者被害に関すること</li> <li>7 ヤングケアラーに関すること</li> <li>8 ダブルケアに関すること</li> <li>9 健康・医療に関すること</li> <li>10 日常生活（買い物、ゴミ出し、住まいなど）に関すること</li> <li>11 成年後見制度に関すること</li> <li>12 仕事・就労に関すること</li> <li>13 複合的な課題に関すること</li> <li>14 外国籍の方に関すること</li> <li>15 ひきこもりに関すること</li> <li>16 その他</li> </ul> |
|--|

問2-2 問2で○をつけた中で、特に気になる事例を具体的に教えてください。

・8050 で引きこもり等、問題が重複している、対象者が複数の場合など、問題解決に時間と根気を要するケース。

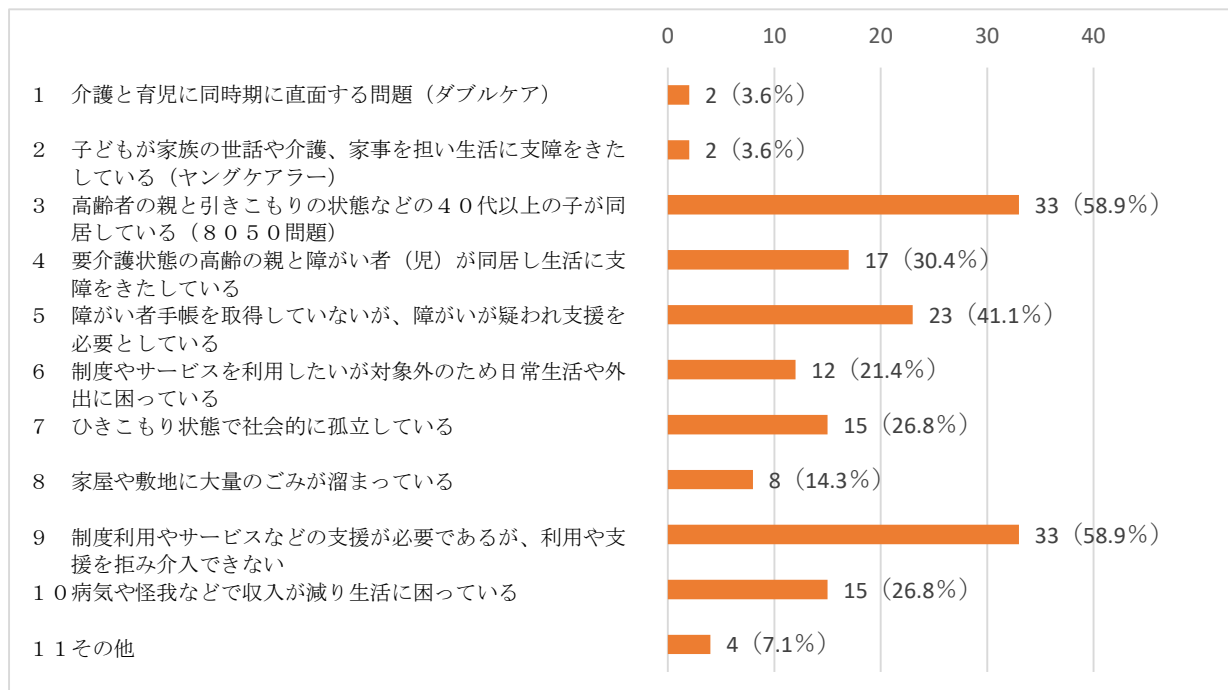
・引きこもり・不登校の当事者ではなく家族からの相談があるが、当事者本人に困り感がないため改善につながりにくい。

・多額の借金があるが本人の自覚がなく散財を続けてしまう。ある程度の判断能力はあるので「後見」相当にはならない。本人の同意なしには金銭管理ができないが、このままでは生活が成り立たなくなってしまうケース。



問3 業務を通して、次のような複合的な課題や制度の狭間で悩んでいる人はいますか。次の中から3つ選び、○をつけてください。

- 1 介護と育児に同時期に直面する問題（ダブルケア）
- 2 子どもが家族の世話や介護、家事を担い生活に支障をきたしている（ヤングケアラー）
- 3 高齢者の親と引きこもりの状態などの40代以上の子が同居している（8050問題）
- 4 要介護状態の高齢の親と障がい者（児）が同居し生活に支障をきたしている
- 5 障がい者手帳を取得していないが、障がい疑われ支援を必要としている
- 6 制度やサービスを利用したいが対象外のため日常生活や外出に困っている
- 7 ひきこもり状態で社会的に孤立している
- 8 家屋や敷地に大量のごみが溜まっている
- 9 制度利用やサービスなどの支援が必要であるが、利用や支援を拒み介入できない
- 10 病気や怪我などで収入が減り生活に困っている
- 11 その他

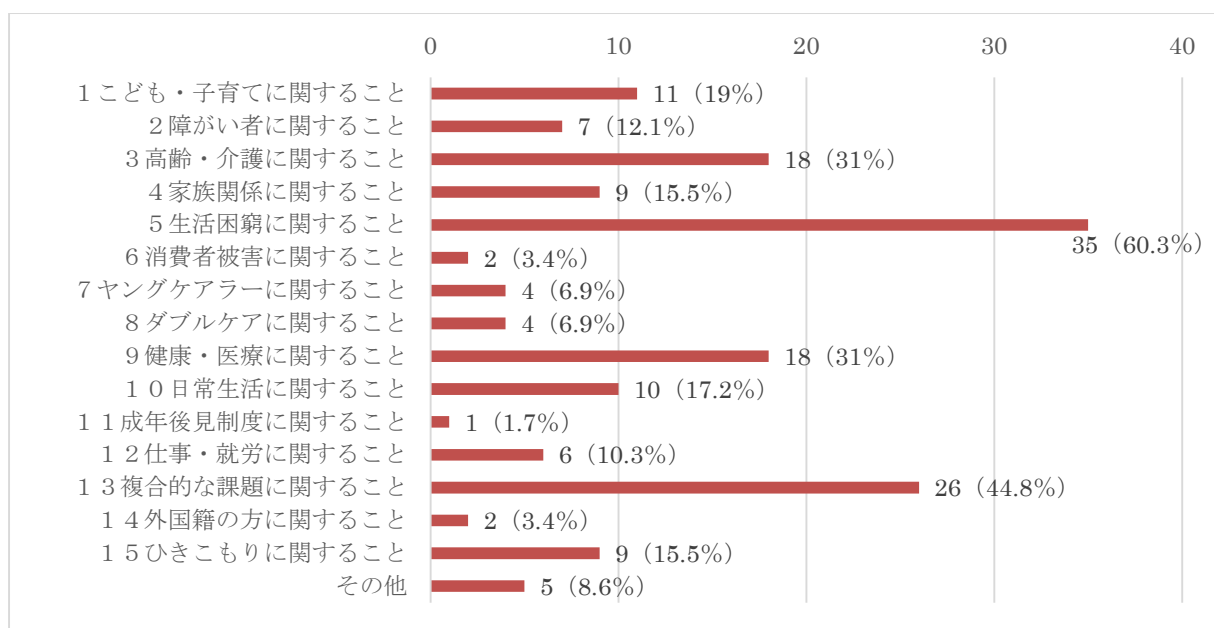


問3-2 問3で○をつけた中で、特に気になる事例を具体的に教えてください。

- ・地域から孤立しごみ屋敷となった世帯、本人は支援が必要ないと言うが周りからみたらとても気になる世帯。
- ・認知症の疑いのある方に支援の相談を持ち掛けても、困っていることはないと言われ拒否されてしまう。
- ・精神疾患の子が認知症の親への介入を拒む。

問4 業務から見える様々な福祉的課題について、優先的に解決しなければならないと思うものをお答えください。次の中から3つ選び○をつけてください。

- 1 こども・子育てに関すること
- 2 障がい者に関すること
- 3 高齢・介護に関すること
- 4 家族関係に関すること
- 5 生活困窮（収入、借金、生活費など）に関すること
- 6 消費者被害に関すること
- 7 ヤングケアラーに関すること
- 8 ダブルケアに関すること
- 9 健康・医療に関すること
- 10 日常生活（買い物、ゴミ出し、住まいなど）に関すること
- 11 成年後見制度に関すること
- 12 仕事・就労に関すること
- 13 複合的な課題に関すること
- 14 外国籍の方に関すること
- 15 ひきこもりに関すること
- 16 その他

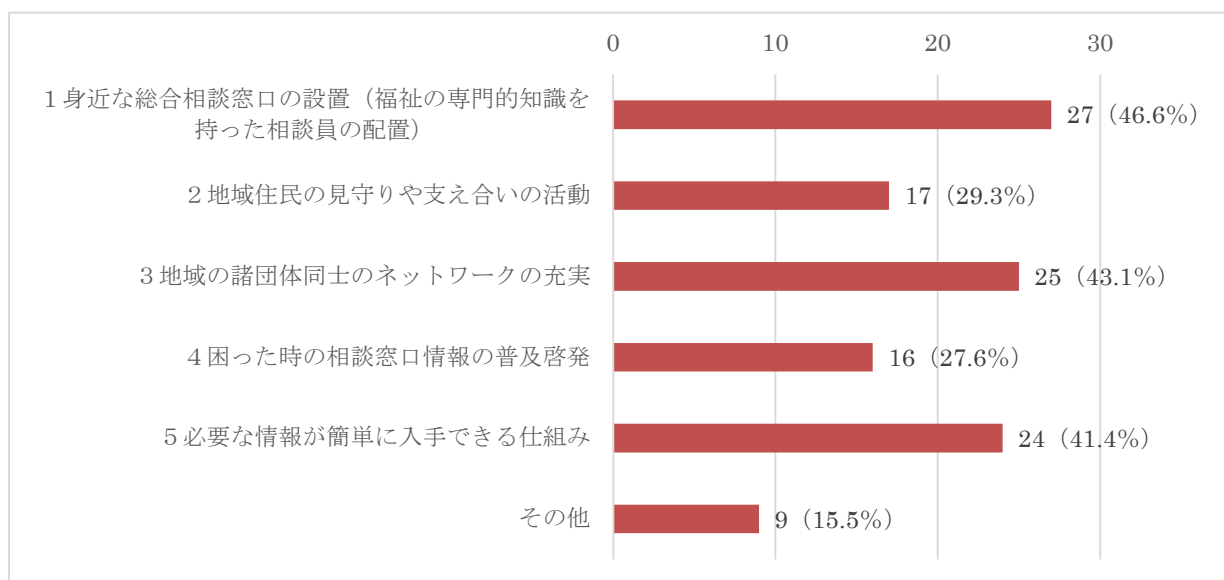


問4-3 問4で○をつけた中で、特に気になる事例を具体的に教えてください。

- ・高齢者の免許返納後の日常生活について、買い物やゴミ出しなどの身近な支援についての有効な資源が少なく、利用に繋がりにくい。
- ・医療の介入が必要だが本人の拒否からつながらないケース
- ・認知症の夫（または妻）を介護している妻（または夫）自身も病気や障害を持っている。包括支援センターとつながっていても介護を受ける本人が家族以外の介入を拒否されているケース。

問5 業務から見える福祉的課題を解決するための効果的な方法は何だと思いますか。次の中から2つ選び○をつけてください。

- |   |                                  |
|---|----------------------------------|
| 1 | 身近な同号相談窓口の設置（福祉の専門的知識を持った相談員の配置） |
| 2 | 地域住民の見守りや支え合いの活動                 |
| 3 | 地域の諸団体同士のネットワークの充実               |
| 4 | 困った時の相談窓口情報の普及啓発                 |
| 5 | 必要な情報が簡単に入手できる仕組み                |
| 6 | その他                              |



問6 福祉的課題に対して、地域住民やボランティア団体・企業等インフォーマルとの連携で上手くいった事例があれば教えてください（現在進行形でも構いません）。

・ゴミ屋敷（部屋）に関し福祉村ボランティアの協力を得て解決、介護サービスにつなげることで再発を防止できた。

・独居の認知症高齢女性が住み慣れた地域で、今まで通りサロン等社会参加できるよう、認知症サポーターやケアマネジャー、自治会の人たちと見守り、声掛けをする役割分担をした。

問7 市内で特筆すべき NPO 法人、福祉コミュニティ、福祉活動団体をご存知であれば名称と活動内容を教えてください。

・福祉村：サロンや体操クラブ等の開催、介護保険の総合事業、子育て支援等の総合事業。

・NPO ぜんしん：ひきこもり支援。

問8 今後5年程度の間に取り組みが必要な課題や、新たな福祉的課題などをお答えください（現在進行形でも構いません）。

・8050 問題、ごみ屋敷問題等の様々な問題が複合している場合の関係機関や地域の協力体制の強化が必要。

- ・今後 75 歳以上の後期高齢者が増加し、独居で孤立し助けを求められない対象者が増加することが予測されるため、高齢者支援（見守り）の強化。
- ・高齢社会になれば、必然的にひきこもりの方本人もその親の年齢も高齢になり、親が子を支えることが容易ではなくなってくると思われるため、ひきこもりの支援は今後、現在以上に必要な課題になると考える。

**問 9 地域福祉リーディングプランの改定について、提言したいことやご要望があればお書きください。**

- ・住居と年金、障害者の問題が深刻であり相談員の負担も大きくなっていることと、人材確保が厳しいと実感した。
- ・地域の方が安心して活動をしていくには、困ったケースや心配なケースがあった際に専門機関に相談ができることが重要。各相談機関が役割を果たし連携し支援を行い、地域の方が安心して活動できることが地域活動の活動継続につながるのではないかと。

---

---

作成 平塚市社会福祉協議会

---

---